

様式 1（主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施 策	①女性が働きやすい環境づくり
			施策の小項目名	○ひとり親家庭の自立に向けた支援
主な取組	就労支援と子どもへの学習支援		対応する成果指標	女性の離職率
施策の方向	・ひとり親に対する支援については、自立した生活に向けて、座学研修と職業研修を組み合わせた就職支援や、就労支援と子どもへの学習支援など家庭の状況に応じた総合的な支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R7	R8	R9
ひとり親家庭の就労や生活基盤の安定を図るため、ひとり親に対し技能習得の支援を行うとともに、受講中の一時預かり等の子育て支援を行う。	県	ひとり親家庭技能習得支援、講座受講中の子どもの一時預かりおよび学習支援		
		支援対象世帯数(累計)		
		100世帯	100世帯(200世帯)	100世帯(300世帯)
担当部課【連絡先】	こども未来部女性力・ダイバーシティ推進課【 098-866-2500 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/kyoiku/kosodate/1008226/1036501/1036526/1036515.html

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		ひとり親家庭技能習得支援事業			予算事業名		ひとり親家庭技能習得支援事業	
主な財源		実施方法		R6年度 決算額	R7年度 決算見込額	R8年度		
一括交付金 (ソフト)		委託		60,948	47,866	当初予算額		
各省計上		委託		68,998				
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
経理事務に必要とされる資格講座（基礎・上級クラス）を実施するとともに、受講中の子どもの一時預かりを行った。					経理事務に必要とされる資格講座（基礎・上級クラス）を実施するとともに、受講中の子どもの一時預かりを行う。			

活動指標名		支援対象世帯数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	—	79世帯	100世帯	79.0%	概ね順調	ひとり親家庭の母等に家庭の状況、職業適性、就業経験等に応じ適切な就業相談を実施。また、就業に必要な知識や技能の習得を図るための就業支援講習会を実施した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
仕事と子育てをひとりで担う親でも、継続的に受講できるよう、振替制のカリキュラムを構築したほか、受講生個々人のキャリアカウンセリングを実施する等、支援体制を強化したことにより計画値を達成した。							

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
令和7年度も引き続き上級コースで簿記2級講座を実施し、資格取得を希望するひとり親家庭への支援を強化する。	令和7年度においても上級コースで簿記2級講座を実施し、資格取得を希望するひとり親家庭への支援の強化を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	令和5年度より、就労環境の改善に役立つ資格取得を促進し、更なるスキルアップに繋がるよう上級コースで簿記2級の講座を実施しており、全国平均合格率を上回る結果となった。	① 執行体制の改善	令和8年度も引き続き上級コースで簿記2級講座を実施するのと併せて、建設業経理検定取得講座を実施し、資格取得を希望するひとり親家庭への支援を強化する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施 策	②男女の機会均等と待遇改善
			施策の小項目名	○女性労働者の賃金・雇用管理の改善
主な取組	女性のチカラ応援宣言の実施		対応する成果指標	男性の給与を100としたときの女性の給与
施策の方向	・性別を理由とする賃金格差、ハラスメント及び高い非正規雇用率など、男性と比べて不利益を受けやすい立場にある女性労働者の労働環境を整備するため、賃金・雇用管理を改善するとともに、男女間の固定的な役割分担意識等により生じている格差の解消に向けて、女性の管理職登用の拡大等を促進することにより、女性の雇用の質の向上に取り組めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
女性が社会のあらゆる分野で活躍できるよう、様々な分野のリーダーによる「女性のチカラ応援宣言」の実施に取り組む。	県	様々な分野のリーダーによる「女性のチカラ応援宣言」の実施		
		応援宣言実施者数（累計）		
		10人	10人（20人）	10人（30人）
担当部課【連絡先】	こども未来部女性力・ダイバーシティ推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/danjo/1021609/1027355/index.html

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		女性力推進事業費			予算事業名		女性力推進事業費	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	—	13,431の一部	12,848の一部		県単等	委託	20,660の一部	
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
県内企業や様々な業種のリーダーに“Womanちゅ応援宣言”を行ってもらう。					県内企業や様々な業種のリーダーに“Womanちゅ応援宣言”を行ってもらう。			

活動指標名	応援宣言実施者数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	—	—	28人	10人	100.0%	順調	県内企業や様々な分野のリーダーに“Womanちゅ応援宣言”をしてもらい、組織や社会の意識改革を促すようなメッセージの発信、取組みの実践に努めることで、女性が力を発揮しやすい環境を整備していく。
進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果							
目標値10人に対し28人に“Womanちゅ応援宣言”をしてもらったので、「順調」と判断した。“Womanちゅ応援宣言”の普及と女性活躍の更なる機運醸成のため、啓発イベントを実施し、女性活躍推進に対する理解を促進した。							
(2) これまでの改善案の反映状況							
令和7年度の取組改善案				反映状況			
○ 様々な分野のリーダーが女性活躍推進を促すような宣言の実施及び周知をすることで、社会や組織内の改革を促進し、意識啓発につなげる。 ○ 県HPやSNSの活用、啓発イベント等を実施し、積極的な周知・広報をする。				様々な分野のリーダーに女性活躍推進を促すような宣言を行ってもらい、県HPや啓発イベントにおいて周知したことで、“Womanちゅ応援宣言”のさらなる普及を促進したと共に、組織内の改革の促進及び意識啓発につなげた。啓発イベントにおいては、「わけるのではなく、わかちあおうよ」をテーマに、「令和7年度 女性力推進事業シンポジウム」を実施し、女性活躍推進に対する理解を促進した。			

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	近年、子育て期の女性を含め、女性の就業率が大幅に増加していることから、就業を継続するだけでなく、実力をつけて成長し、それを公正に評価され、活躍できる環境づくりが必要である。	⑥ 変化に対応した取組の改善	様々な分野のリーダーが女性活躍推進を促すような宣言の実施及び周知をすることで、社会や組織内の改革を促進し、意識啓発につなげる。また、啓発イベントを実施し、女性活躍推進の機運を高める。
① 県の制度、執行体制（内部要因）	“Womanちゅ応援宣言”が任意であることから、積極的な周知・広報が必要である。	⑤ 情報発信等の強化・改善	県HPやSNSの活用、啓発イベント等を実施し、積極的な周知・広報をする。啓発イベントでは、過去の宣言をパネルに掲載する等、過去の宣言の周知も図る。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施 策	③女性が働き続けられるための意識啓発等の促進
			施策の小項目名	○女性が働き続けられる職場環境の整備
主な取組	男性向け講座等の実施		対応する成果指標	女性の平均勤続年数
施策の方向	・女性が働き続けられる職場環境の整備については、セミナーの開催等により、事業主、従業員双方の意識を啓発し、女性リーダーの育成を促進することに加え、男性の育児休業取得促進や女性の職業継続を支援する意欲のある企業が自主的な取組を行えるよう「女性が働き続けられる職場づくり支援プログラム」の普及・啓発に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
男性の家事・育児参画に関する広報や、育児休業取得の促進に関する啓発活動等を実施する。	県	男女共同参画・男性の育児休業取得の促進等に関する講座や意識啓発活動の実施		
		啓発講座等の実施回数（累計）		
		2回	2回（4回）	2回（6回）
担当部課【連絡先】	こども未来部女性力・ダイバーシティ推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	https://www.okinawajosei.org/support.php

様式 1（主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

女性力推進事業

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

県単等

委託

13,431の一部

12,848の一部

令和7年度活動内容

男性の家事・育児参画促進に資する広報や啓発活動等を実施する。

予算事業名

女性力推進事業

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

委託

18,934の一部

令和8年度活動計画

男性の家事・育児参画促進に資する広報や啓発活動等を実施する。

活動指標名

啓発講座等の実施回数（累計）

R7年度

実績値

目標値

達成割合

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

順調

アンコンシャス・バイアスや固定的な性別役割分業意識の解消を図ること、男性の育休や家事参画の促進を目的としてシンポジウムを開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

啓発講座等の実施について、目標2件に対し実績2件（達成率100%）だったことから、「順調」と判定した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○ 固定的性別役割分担意識の解消を目的とした講座・学習機会の提供や、さまざまな角度から女性の出産や育児負担軽減のため、男性の育児休業取得推進に係る意識啓発に取り組む。

○ 「女性力推進事業」でアンコンシャス・バイアスや固定的な性別役割分業意識の解消を図ること、男性の育休や家事参画の促進を目的としてシンポジウムを開催し、タレントの野々村友紀子氏による基調講演、男性の育児休業及び女性の管理職登用に取組んでいる企業幹部によるトークティスカッションを行った。
家庭・職場の両面から男性の育児休業取得について考える機会を県民に提供でき有意義な会となった。

- 8 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑧ その他外部要因 （改善余地の検証等）	取得率は増加傾向が続いているが、事業所規模により取得率や期間に大きな隔たりがある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	家庭・職場の両面で固定的性別役割分担意識の解消を図るほか、育児休業取得のため制度的・心理的ハードルを緩和のため情報発信に取り組む必要がある。